

平成28年度 学校評価報告書(目標設定・実施結果)

Table with 10 columns: 視点, 4年間の目標(平成28年度策定), 1年間の目標, 取組の内容(具体的な方策, 評価の観点), 校内評価(達成状況, 課題・改善方策等), 学校関係者評価(3月25日実施), 総合評価(3月31日実施)(成果と課題, 改善方策等). Rows include 教育課程学習指導, (幼児・児童・)生徒指導・支援, and 進路指導・支援.

4	地域等との協働	<p>地域等との連携を深め、信頼される学校づくりを推進する。地域の教育力を活用するとともに、地域に貢献する教育活動を充実させる。</p>	<p>生徒の地域活動への参加を促す。地域の研究所や事業所と連携してSSHの教育活動を展開する。</p>	<p>地域で行われる活動への生徒の参加を呼びかける。 学校設定科目 Principia を通じて地域の研究所や事業所で生徒が探究活動を行い、成果発表を行う。</p>	<p>生徒の地域活動への参加は増加したか。生徒の探求活動に対する地域の関心を高めることができたか。</p>	<p>河川の清掃活動、海岸の清掃活動等へのべ78人の生徒が参加した。また、地域祭りへの参加、地域絵画展への出品、福祉施設でのボランティア活動など新規に3件を加え、地域連携を拡大した。協力研究機関から全面的な協力を得て、生徒が課題研究を行った。また、研究機関主催のワークショップ等に生徒が積極的に参加した。</p>	<p>生徒会が中心となり部活動単位での参加を呼びかける。SSH2年目に向けて、現協力研究機関にSSHの課題研究をより理解してもらうとともに、協力機関をさらに増やし、地域との連携を深める。小学生や中学生を対象とする科学教室を実施する。また、地域の研究所での企画に多く参加する。</p>	<p>SSH関連でも地域貢献する機会が増えている。地域を代表する学校であり、進学のみならず、社会のリーダーの育成という面でも期待している。</p>	<p>あいさつ運動は部活動参加に移行し始め活性化が図れた。新規に参加した2つの地域行事も含め、年間で延べ16部活500名(全生徒の60%)が参加した。 文化祭、研究機関等で小中学生対象に科学部による実験教室を、博物館、学会で地域の方を対象に課題研究発表を行い、好評を得た。</p>	<p>現在の地域貢献、地域参加の継続とともに、年間を通して延べ参加人数を増加させる。地域貢献参加の生徒企画を促す。 SSHの活動で課題研究成果や科学部の活動を通して、地域に科学への関心を伝える活動を活性化していく。次年度は校内にSSH委員会(生徒)を発足し、活動の企画、運営ができるよう指導していく。</p>
5	学校管理 学校運営	<p>すべての職員が教育環境の変化に柔軟かつ迅速に対応し、積極的に課題に取り組む組織づくりを進める。</p>	<p>教育課題について教職員の意識を高める取組を進める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教育情報と課題の共有化を図る。 ・グループが主体となった事故不祥事防止会議を年6回以上開催する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報発信の回数が向上したか。 ・不祥事未然防止に係る教職員の意識向上が図れたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員による不祥事防止会議を8回開催した。啓発資料を用いたセルフチェックを行い、不祥事防止の意識向上を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・規定及び各業務のマニュアルを綴じこんだ職員ハンドブックを作成する。 ・教員の企画による各種研修会を開催する。 	<p>校舎内や敷地が大きな割に清掃状況はよい。校舎の改修、改築がなされるとなおよびよい。安心・安全な学校づくりに向けて取り組んでいるが、今後は非常時の対応も含めいっそうの取り組み充実を期待する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校課題の抽出を行い、清掃活動強化、部活動・服装規定の明文化、支援教育改善、防災訓練改善、施設の有効活用、ICT推進等に迅速かつ組織的に取り組んだ。学習環境整備は鋭意進行中である。職員の共通理解のため新規に職員ハンドブックを作成した。 ・教職員からの改善提案、新規提案が多く実現でき、学校の課題改善とともに教育の活性化が図れた。事故防止会議を職員主体で開催した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境整備を加速させ、同時にICT環境の推進と利活用を活性化するための条件的整備を推進する。 ・課題発見のため、情報を定期的に共有していくとともに、協働できる風通しの良い職場環境を保つ。復命研修など研修を効果的に行う方法を検討し、課題やニーズにあった研修を行う。